

一の自動開閉により、排気カバーの着脱操作を省略するとともに、^{ガス}グリルの燃焼効率の低下の防止および衛生保持にも充分対応できるグリル付ガステーブルを提供するものである。

発明の構成

この発明の目的を達成するために本発明のグリル付ガステーブルはガスグリル上面に排気カバーを設けるとともに、この排気カバー裏面の一端に形状記憶合金を伸縮自在に取り付け、この排気カバー裏面他端にはヒンジを設けてガスグリル本体に開閉自在な構成としたものである。

この構成によって、形状記憶合金が取り付けられている排気カバーは、形状記憶合金の温度変化に応じた伸縮性により温度変化に応じて排気カバーの開閉幅が変化し、この作用によってガスグリルの排気口面積を温度変化で自動制御できる。

実施例の説明

以下本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

第2図は本発明の一実施例におけるグリル付ガ

ステーブルのガスグリル部断面図を示すものである。第2図において、3はガスグリル上面に設けられている排気カバーであり、4は排気カバー3の裏面に取り付けたスプリング状の形状記憶合金で、5は排気カバー3を開閉自在にするヒンジで、6は炭や煙れがガスグリル部内にはいり込むことを防止する凹状のフランジである。

以上のように構成されたグリル付ガステーブルについて、以下その動作について説明する。まずガスグリルを使用して魚等を焼くと排気カバーの温度が上昇しスプリング状形状記憶合金2が伸び始める。そして第2図に示すように排気カバー3の役方が持ち上げられ煙が排気される。さらにガスグリル内の温度が上昇するとスプリング状形状記憶合金4は伸び続け排気カバー開口部は広くなる。ガスコンロにかけた鍋から煮汁がこぼれたとしてもフランジ6が凹になっておりガスグリル内に煮汁ははいり込まない。ガスグリルの使用を中止すればスプリング状形状記憶合金4は縮み排気カバーの開口部は閉じ、煮汁や煙れがガスグリ

ル内にはいり込まず貯留される。

以上のように本実施例によれば、スプリング状形状記憶合金の伸縮により、温度変化に応じてガスグリルの排気開口面積が制御できる。

発明の効果

以上のように本発明は、排気カバーに形状記憶合金を取り付けるという極めて簡単な構造で、ガスグリル使用時にガスグリル内の煙を自動排気するとともにガスグリル燃焼効率低下を防ぎ衛生面でもすぐれており、その効果は大なるものがある。

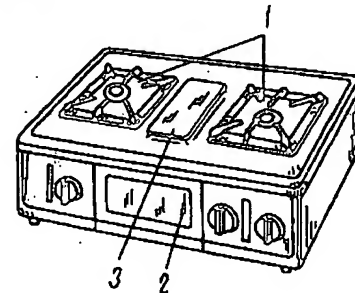
4. 図面の簡単な説明

第1図はグリル付ガステーブルの斜視図、第2図は本発明の一実施例を示すグリル付ガステーブルの縦断面図である。

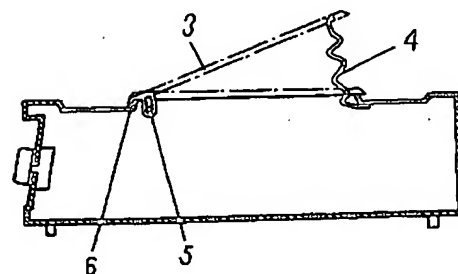
3……排気カバー、4……スプリング状形状記憶合金、5……ヒンジ、6……フランジ。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

第 1 図



第 2 図



⑫ 公開特許公報(A)

昭60-144530

⑮ Int.Cl.⁴
F 24 C 15/20識別記号 庁内整理番号
A-7116-3L

⑬ 公開 昭和60年(1985)7月30日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 グリル付ガステーブル

⑯ 特 願 昭59-408

⑰ 出 願 昭59(1984)1月5日

⑱ 発 明 者 菅 尾 貞 登 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑱ 発 明 者 梅 田 雅 一 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

グリル付ガステーブル

2、特許請求の範囲

ガスグリル上面に排気カバーを設けるとともに、この排気カバー裏面の一端に形状記憶合金を伸縮自在に取り付け、排気カバー裏面の他端にはヒンジを取り付けてガスグリル本体に開閉自在とし、ガスグリルの排気口面積を自動制御するグリル付ガステーブル。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はガスグリルの排気を使用目的に応じて自動制御するグリル付ガステーブルに関するものである。

従来例の構成とその問題点

近年、グリル付ガステーブルは取り扱いが容易でかつ便利なものが望まれるようになり、多機能なグリル付ガステーブルの要求が高まってきた。

以下、図面を参照しながら、従来のグリル付ガ

ステーブルについて説明を行なう。

第1図は従来のガスグリル付ガステーブルを示すもので、ガスコンロ部1およびガスグリル部2から構成されている。第1図において排気カバー3はガスグリルを使用しないときに煮こぼれや、ほこりからガスグリル内を清潔に保つとともに、ガスグリル上面を物の落下等による損傷から保護するものである。この排気カバーは大別して排気用の穴を設け着脱操作を省略した型と、煮汁やほこりからガスグリル内を清潔に保つことを重視した型の2種類がある。

しかしながら前記のような構成では以下の欠点を有していた。排気用穴を備えた排気カバーは煮汁や、ほこりがガスグリル内にはいり込み、排気用穴が不備の排気カバーはガスグリル使用時に排気カバーを取り外す操作が必要であり、排気カバー取り外しを怠るとガスグリルの燃焼効率の低下を招いていた。

発明の目的

本発明は上記欠点に鑑みガスグリルの排気カバ

PAT-NO: JP360144530A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60144530 A
TITLE: GAS TABLE WITH GRILL

PUBN-DATE: July 30, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUGAO, SADATAKA	
UMEDA, MASAKAZU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP59000408
APPL-DATE: January 5, 1984

INT-CL (IPC): F24 C 015/20

US-CL-CURRENT: 126/41R , 126/51 , 126/299D

ABSTRACT:

PURPOSE: To make the titled table sanitary by omitting detaching and attaching operation of an exhaust gas cover and preventing deterioration of combustion efficiency, by constituting the titled grill by providing automatically, openably and closably the exhaust gas cover, whose backside is provided with a shape memory alloy flexibly on the top of the gas grill.

CONSTITUTION: When a temperature of an exhaust gas cover 3 is risen by making use of a gas grill, a spring-shaped shape memory alloy 4 is elongated. With this construction, the exhaust gas cover 3 is raised upward centering around a hinge 5 and the exhaust gas cover 3 is opened. This opening degree is widened according as a temperature rises. Boiling over is received by a hollow at a flange 6. The spring-shaped shape memory alloy 4 is contracted and the exhaust gas cover 3 is closed through decline of a temperature.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio